

## 1. 令和3年度決算の概要

令和3年度の一般会計における最終予算現額は383億3,527万円で、この予算に対する決算額は、歳入が355億6,026万円、歳出が348億8,433万円で、差し引き6億7,594万円となりました。このうち翌年度へ繰り越すべき財源3億3,140万円を差し引いた実質収支の額は3億4,454万円となり、18年連続の黒字決算となりました。

財政用語については、  
こちらを  
ご確認ください。



会計名	決算額		形式収支額(A) (歳入-歳出)	繰越すべき財源(B)	実質収支額 (A)-(B)
	歳入	歳出			
一般会計	355億6,026万円	348億8,433万円	6億7,594万円	3億3,140万円	3億4,454万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出及び形式収支額などの計が一致しないことがあります。

## 2. 一般会計 歳入の概要

### ■一般会計 歳入の概要

#### ①市税 116億2,242万円(前年度比0.1%増)

個人市民税で6,500万円の減、固定資産税で7,177万円の減、法人市民税で9,033万円の増など

#### ②税外収入 30億2,091万円(前年度比0.1%増)

財産収入では土地売却収入で2,856万円の増、繰越金では前年度純剰余金で1億224万円の減、寄附金ではふるさと応援寄附金で4,697万円の増など

#### ③国庫支出金 93億6,402万円(前年度比35.5%減)

特別定額給付金給付事業費補助金で74億6,611万円の減、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で5億676万円の減など

#### ④地方交付税 45億7,841万円(前年度比19.5%増)

地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合などが地方公共団体に交付されるもの

#### ⑤府支出金 20億3,998万円(前年度比2.7%減)

障がい者総合支援負担金で6,256万円の増、安心子ども基金特別対策事業費補助金で4,767万円の減、国勢調査委託金で3,788万円の減など

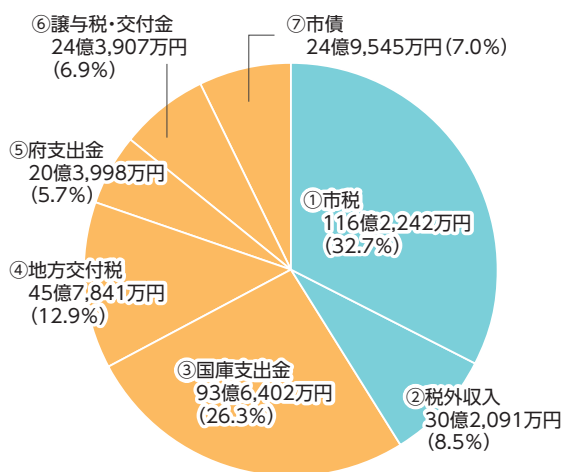
#### ⑥譲与税・交付金 24億3,907万円(前年度比19.4%増)

地方消費税交付金は1億3,695万円増の16億8,271万円で、そのうち社会保障財源交付金にあたる9億6,924万円を障がい福祉サービス給付などの社会保障施策の財源として活用

#### ⑦市債(借入金) 24億9,545万円(前年度比9.7%増)

公園整備事業債で3億2,940万円の減、小学校整備事業債で3億690万円の増、中学校整備事業債で2億1,990万円の増など

### 歳入 355億6,026万円



#### 【①市税の内訳】

個人市民税	38億1,871万円
法人市民税	8億4,012万円
固定資産税	52億1,974万円
軽自動車税	1億2,919万円
市たばこ税	6億3,990万円
都市計画税	9億7,476万円

#### 【②税外収入の内容】

諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

■自主財源(地方自治体の権限で収入できる財源)  
■依存財源(国や府の意思決定に基づき交付される財源)

市民1人あたりの市税負担額  
**15万8,201円**

※令和3年度末時点での住民登録人口により算出

### 3. 一般会計 歳出の概要

歳出の決算は、経費の経済的な性質に着目した「性質別分類」と行政目的に着目した「目的別分類」に分類することができます。性質別分類では令和3年度の概要を、目的別分類では、市民1人あたりの歳出額をお知らせします。

#### ■性質別

##### 【義務的経費】

・扶助費 106億6,498万円(前年度比24.2%増)

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業で10億394万円の増、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業で8億7,003万円の増、障がい者総合支援給付事業で2億4,414万円の増など

・人件費 47億1,342万円(前年度比7.9%増)

職員給で1億3,050万円の増、退職手当で9,835万円の増など

・公債費 26億9,140万円(前年度比13.8%減)

市債の返済に要する経費で、前年度比13.8%減の26億9,140万円となりました。

##### 【投資的経費】

31億73万円(前年度比45.3%増)

小学校施設整備事業で4億837万円の増、新図書館整備事業で3億9,897万円の増など

##### 【その他の経費】


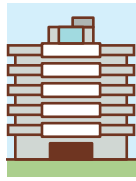






137億1,380万円(前年度比33.7%減)

補助費等で、前年度比62.2%減の47億2,408万円となり、特別定額給付金給付事業で74億3,128万円の減が主な要因となっています。繰出金では、介護保険事業特別会計繰出金事業で5,323万円の増など、前年度比2.2%増の30億9,568万円となり、積立金では、財政調整基金積立事業で5億6,597万円の増など、前年度比27.8%増の15億3,722万円となりました。

#### ■目的別

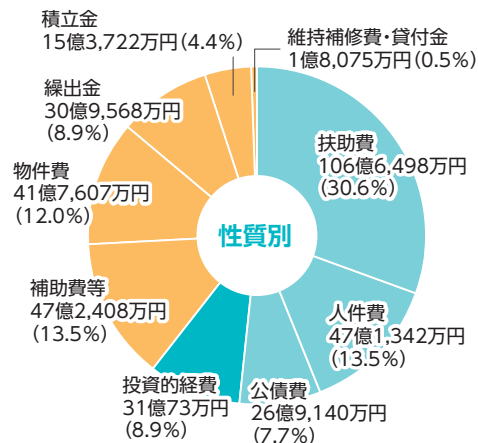
市民1人あたりの歳出総額 47万4,836円

目的別歳出を市民1人あたりに置き換えると…

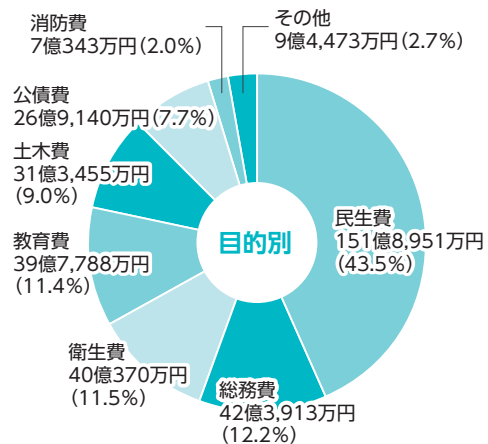
民生費	総務費	衛生費	土木費	公債費	教育費	消防費	その他
高齢者や児童の福祉に	窓口業務、税金徴収に	ごみ処理や病気予防に	道路、河川、公園整備に	借入金の返済に	学校、公民館、学習活動に	消防活動、防災活動に	議会、商工、農林水産に
							
20万6,756円	5万7,702円	5万4,497円	4万2,667円	3万6,635円	5万4,146円	9,575円	1万2,858円

※令和3年度末時点での住民登録人口により算出

歳出 348億8,433万円



- …義務的経費(支出が義務付けられており任意に削減することができない経費)
- …投資的経費(学校や道路などの建設・整備に要する経費)
- …その他の経費



## 4. 特別会計の決算状況

会計名	決算額		形式収支額 (歳入・歳出差引額) (A)	翌年度へ 繰越すべき財源 (B)	実質収支額 (A) - (B)
	歳入	歳出			
特別会計	155億5,549万円	153億667万円	2億4,881万円	0万円	2億4,881万円
土地取得事業特別会計	2億1,924万円	2億1,924万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	81億7,470万円	81億918万円	6,552万円	0万円	6,552万円
介護保険事業特別会計	61億3,897万円	59億8,909万円	1億4,988万円	0万円	1億4,988万円
後期高齢者医療特別会計	10億2,258万円	9億8,916万円	3,341万円	0万円	3,341万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

## 5. 借入金と財産の状況 (令和4年6月30日時点)

### ■市の借入金(市債・企業債)現在高

会計名	現在高
一般会計	259億4,501万円
土地取得事業特別会計	13億9,113万円
下水道事業会計	196億2,042万円
水道事業会計	31億704万円
病院事業会計	27億6,768万円
合計	528億3,128万円

### ■市の財産現在高

区分	現在高
有価証券	2,350万円
基金	
泉大津市財政調整基金	43億3,975万円
泉大津市都市施設整備基金	1億4,435万円
泉大津市福祉基金	2,257万円
交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737万円
深喜人材育成基金	1億3,014万円
泉大津市公園墓地基金	4,646万円
泉大津市介護給付費準備基金	5億5,528万円
辻川穂太郎やすらぎ基金	8,266万円
泉大津市がんばろう基金	4,874万円
佐野幸子基金	1,362万円
泉大津市地域環境基金	9,154万円
八木稔すこやか基金	5,948万円
泉大津市環境整備資金貸付基金	6,194万円
泉大津市宮住宅整備基金	3億5,976万円
テクスピア大阪産業振興整備基金	5億9,134万円
泉大津市安全・安心なまちづくり連携活動基金	6,220万円
泉大津市ふるさと応援基金	13億4,767万円
泉大津市下水道基金	5,044万円
泉大津市公共施設整備基金	4億8,476万円
泉大津市国民健康保険事業財政調整基金	2億2,532万円
泉大津市駐車場整備基金	2,878万円
泉大津市森林環境譲与税基金	1,352万円
小計	90億1,769万円
合計	90億4,119万円

市民1人あたりにおきかえると…



借入金(市債・企業債)	72万円
財産	12万円

※令和4年6月末時点での住民登録人口により算出



## 6. 令和3年度決算における健全化判断比率と資金不足比率(暫定値)を公表します

### ■健全化判断比率:4指標

※黒字である場合には、「-」の表示となります。

各比率	概要	泉大津市		国の基準	
		比率		早期健全化基準	財政再生基準
		3年度	2年度		
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計などの赤字の割合	-	-	12.60%以上	20.00%以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	-	-	17.60%以上	30.00%以上
実質公債費比率	1年間の収入に対する借入(借入金)返済の負担を3か年の平均で示した割合	8.5%	8.7%	25.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来本市が支払う借入金返済の割合	14.2%	29.3%	350.0%以上	

### ■資金不足比率

※不足額がない場合には、「-」の表示となります。

各比率	事業	概要	泉大津市		国の基準
			3年度	2年度	経営健全化指標
資金不足比率	水道事業会計	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合 この割合が高い場合、経営状況が悪いことを示します	-	-	20.0%以上
	病院事業会計		-	3.6%	
	下水道事業会計		-	-	

## 7. 令和3年度に実施した主な事業

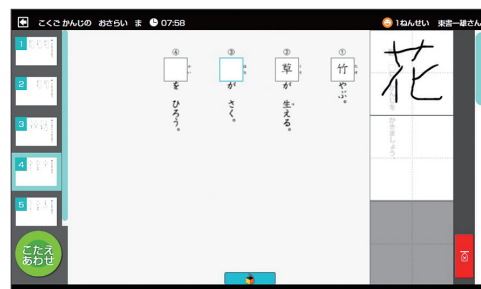
### ① 中学校全3校の屋内運動場に空調設備を導入

中学校の屋内運動場に冷暖房運転ができる空調設備を設置しました。夏の熱中症対策だけでなく災害時の対応力を重視し、LPガス仕様の自立発電型で停電時にも使用でき、災害に強い設備です。



### ② デジタル学習教材を導入

小・中学校で1人1台配備したタブレットを活用し、学習の個別最適化や自学自習の推進を図るため、学習ドリル機能が充実しているデジタル学習教材を導入しました。授業や家庭学習の他、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学級・学年閉鎖の際には、児童生徒の学びを止めないための手段として活用できました。



### ③ AIリアルタイム情報収集サービス導入

以前から災害時の被害状況を把握する手段が、通報や現地確認に限られ、即時性や正確性の低さによる対応の遅れが懸念されていました。そのため、SNSの投稿を瞬時に集約しAIと人の目で画像などを解析する、リアルタイム情報収集サービスを導入しました。それにより、速報性・正確性・網羅性に長けた情報収集が可能となり、すばやく的確な初動対応に繋がります！

